

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業なでしこ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの成長発達、特性に沿った活動の提供、落ち着いた環境下で安心して一日を過ごす。	・子どもの様子や特性を理解し多職種の職員が専門的な視点で意見をまとめたプログラムを行っている。 ・子どもが安心して過ごせるよう、専門職(セラピスト、看護師・保育士)でありながら養育者として1対1の関わり、子どもの意思を汲み取り過ごし、遊びでは最大限の力を発揮し	成長発達に沿った支援の継続が行えるよう、多職種がチームで連携を取り支援を行う。
2	給食・入浴サービスの充実	給食は子どもの口腔状況、嚥下等を嚥下外来、医師やセラピストの評価のもと子どもにあった食形態の提供や注入食、同じメニューで提供しています。また同じ時間にお友だちと一緒に食べている事に関心が持てるよう環境の工夫を行っています。 入浴は希望された方のみですが、安全に行えるよう1対2の	子どもの成長発達や変化に早期に気づき、ご家族を含めた関わっている多職種で情報共有をし同じ方向性で進めていく。ご家族へは連絡帳やSNS、動画等で進捗をお伝えしていく。
3	職員の質の向上を図るため、様々な研修会を行っている。	内外の研修に参加したり、自部署で起こりうる事例を上げ実践研修を行っている。	子どもが安全に安心して過ごせるよう、定期的な開催を行い今後も継続していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員(保育士・看護師)確保	配置基準は満たしているが、看護師、保育士が不足している。	HPや就職フェアにて募集を行っている。
2	一部の限定された利用児のみの送迎となっている。(地域限定、ご家庭の理由)	専属運転手ではなく兼務し行っている為限られた利用児のみとなっている。	送迎希望が増えた場合の運転手確保に努めます。
3			